

## ～地域と一体となって教育に取り組む学校～

### 両河内地区でめざす子ども像

ふるさと両河内に誇りをもち、豊かに表現できるたくましい子



### 地域・保護者の願い

- ・ふるさと両河内を大切にしてほしい
  - ・様々なことに前向きに挑戦してほしい
  - ・外部の人と交流し、コミュニケーション力・発信力をつけてほしい
  - ・卒業後も発揮できる主体的に取り組む力・リーダーシップをつけてほしい
  - ・これからの時代に必要な力をつけてほしい。(英語力・ICT 活用力等)
- キーワード
- ふるさと両河内 ○挑戦する心 ○コミュニケーション力 ○発信力
  - リーダーシップ ○英語力・ICT 活用力

### 学校経営の指針

第3次静岡市総合計画  
 第2期静岡市教育振興基本計画  
 静岡型小中一貫教育推進方針

### 学校教育目標

鍛えよ自己を 高めよう共に

### 重点目標

自らの力で表現し 共に高め合う

### 軸となる取組①

#### ディスカバー両河内

- ①地域の特徴を生かした学習**
  - ・自然環境に関する学習
  - ・産業を中心とした学習
  - ・防災学習
- ②地域の自然環境を生かした学習**
  - ・ふるさと行事の実施
  - ・各教科における学びの題材 (図工：造形遊び 社会：森林の役割等)
- ③地域人材やゲストティーチャーを活用した取組**
  - ・各教科における講師協力
  - ・地域の特徴を生かした学習や各教科等における講師協力
  - ・お茶摘み体験・お茶会・闘茶会
  - ・タケノコ掘り・栗拾い
  - ・興津川自然体験・森林保全
- ④地域活性化プロジェクト(例)**
  - ・総合的な学習の時間を中心に、地域活性に貢献されている方の講話や、実際に活動への協力・参加等を実施
  - ・両河内の方の努力や工夫によってお茶の生産がなされていることを実感する
  - ・お茶の栽培、製茶、袋詰め等に児童・生徒自らが関わり、お茶の良さを広く市内外へ広報する

### 後期ステップ (中1・中2・中3年)

- 自分らしい行い・あり方・生き方について考える
- 学校全体のリーダーとして企画・運営・外部への交渉等を行う
- 地域・社会・世界の人とコミュニケーションし、地域活性に貢献する

### 中期ステップ (4・5・6年)

- 自分の良さを生かす
- 学級・学年を超えて学校全体の人とコミュニケーションするリーダーとなる
- 学校のためになることを企画・運営する

### 前期ステップ (1・2・3年)

- 学校生活に慣れる・楽しむ
- 「話し方」「聞き方」等の基本を身に付ける
- 学びやコミュニケーションを楽しむ
- 失敗を恐れず挑戦することを楽しむ

**学習 (まなびづくり)**  
 ①話題や展開を捉えて聞く  
 ②相手や状況に応じた言葉や表現を選んで話す  
 ③自分の考えを再構築し、思いや考えを明確にして伝え合う

相手や場に応じて臨機応変に対応するコミュニケーション力をつける後期ステップ

**学習**  
 ①相手の思いや意図を考えて聞き取る  
 ②筋道を立てて相手にわかりやすく話す  
 ③お互いのよさや違いを認めながら伝え合う

コミュニケーション力の中核となる他者(相手)の反応を意識してやりとりをする力をつける中期ステップ

**学習**  
 ①正しく聞き取る  
 ②相手に伝わるようにはっきり話す  
 ③人・もの・ことに働きかける楽しさを感じる

コミュニケーション力の基礎となる力をつける前期ステップ

授業(各教科)でコミュニケーション力を高めるために  
 ①聞く ②話す ③伝え合い

**特活 (なかまづくり)**  
 ①学校全体をまとめ、企画・運営・渉外等、学校運営や地域活動等に参画する学校リーダーとして活動する。  
 ②自分の特徴や小学部での経験を生かし、学校や地域をより良くするために、仕事を行う

周りの人をひきつける力を持ち、何事にも率先して協働する力をつける後期ステップ

**特活**  
 ①学校リーダーに対するフォロワー意識を持ち、下級生をリードする小学部リーダーとして活動する。  
 ②自分の特徴(良さ)を生かし、クラスや学校のために、仲間と工夫して仕事を行う

仲間の意見を取り入れながら、自分の考えを持ちたり伝えたりする力をつける中期ステップ

**特活**  
 ①小学部・学校リーダーに対するフォロワー意識を持ち、クラスや班・係等をまとめ、動かすリーダーとして活動する。  
 ②自分の良さに気づき、周りの人のために、決められた仕事を進んで行う

仲間の良さを認め、協力し、楽しく活動することができる力をつける前期ステップ

各活動・行事等でコミュニケーション力を高めるために  
 ①リーダー育成 ②参画力

**生活 (こころづくり)**  
 ①時と場に応じた対応力や判断力など、社会で通用する力を身につける。  
 ②あいさつの意義を理解し、相手意識をもったあいさつができる。

様々な立場の他者と関わるための心やマナーを身につける後期ステップ

**生活**  
 ①身につけた生活リズムをもとに、自分に必要な生活の課題を明確にもち、粘り強く取り組む力をつける。  
 ②地域に広がるあいさつ、場に応じたあいさつが自分からできる。

他学年や地域の方とコミュニケーションするための心やマナーを身に付ける中期ステップ

**生活**  
 ①こども園で積み重ねた経験の中からつかんだ生活リズムを定着し、基本的な日常生活習慣を身につける。  
 ②校内のみんなが元気になるあいさつを広げる。

上級生や周りの人とコミュニケーションするための心やマナーを身に付ける前期ステップ

生活・コミュニケーションの基盤をつくるために  
 ①生活全般 ②あいさつ

**英語力**  
 ○英語を活用し、様々な人とコミュニケーションを図る。  
 ○日常的な話題や社会問題を英語で理解し、簡単な英語で意見を伝え合う。  
 ○目的・場面・状況・相手の気持ちに応じて英語で表現し合う。

**英語力**  
 ○身近な事柄について先生や友達と基本的な表現を用いて伝え合う。  
 ○日本と外国の文化を比べて、互いの良さを知る。  
 ○簡単な英語(文)で自分のことを伝える。

**英語力**  
 ○簡単な単語を使って、外国語に親しむ。  
 ○音楽やリズムに合わせて、身体を使いながら英語に親しむ。  
 ○身の回りの物を英語(単語)で言う。

**ICT 活用力**  
 ①ICT を適切かつ主体的・積極的に活用し表現する。  
 ②伝えたいことをICT で受け手を意識しながら様々な資料(プレゼンテーション資料やWebページ等)を作成する。  
 ③ICT を使って地域・社会・世界の人とコミュニケーションする。

**ICT 活用力**  
 ①目的や必要に応じてICT を選択し表現する。  
 ②伝えたいことをICT で学習のまとめや新聞(デジタル機器等を使用)等を作成する。  
 ③ICT を使って学校内外の人とコミュニケーションする。

**ICT 活用力**  
 ①ICT に慣れる。ICT で表現することを楽しむ。  
 ②伝えたいことをICT で絵や短い文にする。  
 ③ICT を使って身近な人とコミュニケーションすることを楽しむ。

### 軸となる取組②

#### コミュニケーション力の育成

- ①各教科等におけるコミュニケーション力の育成**
  - ・ICT等の様々なツールを子ども自らが選択し活用する「伝える力」の育成
  - ・イングリッシュタイム(朝の活動)の実施
  - ・交流スペースにおいて、学びの発信(地域活性プロジェクト)
- ②異学年間における交流**
  - ・特別活動を中心とした、リーダー育成(前・中・後期段階的)
- ③様々な学校との交流の実施**
  - ・他校(県内外)との交流
  - ・ICTを活用した遠隔学校間交流
  - ・合同イングリッシュデーの実施
- ④外部協力者(プロフェッショナル・企業・専門家)との交流**
  - ・環境につながるシゴトドローン編
  - ・ポッチャ体験
  - ・救急法講習会
  - ・交流スペースにおいて○○スペース ※④における学びを⑤発信や交流へつなげる
- ⑤外部への発信**
  - ・学校ホームページやウェブ会議システム・電子模造紙による他校・地域・海外との交流・発信